

お知らせ

講習会・セミナー・見学会

リーダー大工研修生募集

平成24年度国土交通省「木造住宅等の施工能力向上・継承事業としてJBNサポートセンターが実施するもので、将来を担う大工を指導するリーダーと

なれる人材を対象に短期集中型の研修を行います。募集人数:20名 応募資格:建築大工一級技能士資格取得者/規矩術の指導を受け、手道具を扱える経験豊富な方/次世代を担う大工を育てる指導者の適性がある

「長期優良住宅のプランニングセミナー」

設計のポイント・構造計画から申請まで 内容:構造の安定(耐震等級2等)に関する解説と演習 ①JBNサポートセンターの長期優良住宅への取組み

「長期優良住宅・壁量計算の実務」研修会

長期優良住宅の設計に役立つ構造計算をマスターするための研修 内容:構造の安定(耐震等級2等)に関する解説と演習 テキスト:長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)

「JBN長期優良ちきゆう住宅国産材モデル型式認定利用講習会」(省エネルギー対策等級Ⅱ・Ⅲ地域対応)

内容:長期優良住宅の技術的審査を円滑に行うためにJBNが取得した住宅型式性能認定の内容をマニュアルをもとに解説 時間:9:30~16:30 開催日(2012年) 開催地 会場 定員

発行/お問い合わせ 一般社団法人 JBNサポートセンター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階 TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

「木造軸組工法による省令準耐火の住宅」リーダー講習会

開催日:不定期(受講希望者20名程度で開催) 会場:JBN会議室(京橋) テキスト:「木造軸組工法による省令準耐火の住宅(第2版)」,特記仕様書等

刊行物のご案内

新しい刊行物

●長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)

長期優良住宅壁量計算の実務研修会用テキスト 刊行2012年11月、A4・75ページ

●木造住宅の構造計画 長期優良住宅の設計マニュアル

長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト 刊行2012年11月、A4・130ページ

●JBN長期優良住宅(申請マニュアル)

長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト 刊行2012年11月、A4・162ページ



●木造軸組工法による省令準耐火の住宅(第2版)

旧版に新たな実験結果に基づき室内真壁造における梁・柱の4面頭しに関する機構承認仕様を追加しました。あわせて、住宅金融支援機構監修

○工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシートも改定

●住宅改修の工事記録写真・撮影・保管の実務

先に刊行した「バリアフリーから始める住まいの快適リフォーム」の副産物ともいえるものです。改修工事の経過を証明する写真の添付が求められたのですが、不適切なものが多く、工事が終わった段階では撮り直しが出来なかったという苦い経験から本書が作成されました。

●バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム 指針・事例集

●地域工務店のための「防耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」

●長期ちきゆう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定

●同上「手刻みの基本(軸組編)」

JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。

暮爺記(ぼやき)

ジャパンホームショー2012ではJBNの展示ブースに隣接して協会の会員が25のブースを連ねた。スペースは昨年の倍となったが、賑わいはそれを越えた。相乗の効果といえよう。この一角を主催者側は工務店支援ゾーンと呼んだが、もっと適切な表現があるのではないかと。タウンとかビレッジという意見もあったが、空間的にはそもそも業界をつなぐという点では狭い。共同体をめざすのならコミュニティ、だろうか。このコーナーでネットワークの糸のつながりが見えた。それを「絆」、あるいは「結」、「組」として発信できたことの意義は大きい。

JBN サポートセンター・レポート Japan Builders Network

JBN会員数 正会員/2,391社、協力会員/99社、メディア会員/7社、連携団体/49団体 「いえもり・かるて」登録累計数/4,215件 (2012年10月末日現在)

2012.December No.41 発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載 12月号

- JBN全国大会2012開催、ジャパンホームショー2012でJBNの存在をアピール
●活動報告 役員会・青木会長の動き、委員会・WG報告(11月)
●ジャパンホームショー2012 でのJBNの活動紹介
●お知らせ 講習会開催日程・主な刊行物

全国組織としてさらなる進展をアピール JBN全国大会を開催

新生JBNの全国大会が11月15日(木)開催されました。約50名の来賓を迎え、300名近い会員が集う会場で、河井JBN副会長が開催宣言を行い、次の7項目からなる工務店憲章を読み上げ、全参加者が唱和しました。

- 「日本の木で、日本の匠で、日本の家」を造ります
「長期にわたり住み続けられる、資産となる住宅」を造ります
「日本の家をしっかりと守り、維持」していきます
「環境品質を高め、環境負荷を低減する住宅」を造ります
「技術者および技能者の育成」に努め、「お客様の信頼を得て、未永く日本の家造り」に貢献します
「次世代を担う者達が、自信と誇りを持って取り組み、家守として信頼される業界になること」を目指します
安心・安全で豊かな住生活を支える業界団体として、政策への協力、提言を積極的に行ないます。



JBN工務店憲章を宣言する河井副会長

青木JBN会長の挨拶は「工務店による工務店のための業界団体が組織されることが長年の念願であった。JBNがその全国組織として自他ともに認められるまでになった。JBNが中心となって国、都道府県の関連機関、協議会、全木協などとの連携を図り、住生活を支える業界団体として、また地域から必要とされる存在として、一丸となってさらなる進展を目指そう」と熱く訴えました。

都道府県別のJBN組織として設置が決まった地域団体会長への委嘱状伝達式では、19名の各会長が壇上に並び、青木JBN会長から代表のJBN福島県 和田会長へ伝達されました。地域団体会長(都道府県)に委嘱されたのは、武部豊樹(北海道)、和田正光(福島県)、小沼淳志(茨城県)、吉田悦夫(栃木県)、小林稔政(長野県)、鈴木晴之(東京都)、山田一元(神奈川県)、大野年司(埼玉県)、中野栄吉(千葉県)、山田貴敏(岐阜県)、松井進(静岡県)、鈴木貴雄(愛知県)、坂下託一(三重県)、河井英勝(広島県)、山田文夫(徳島県)、矢野久幸(高知県)、小山貴史(福岡県)、馬場鉄心(大分県)、新町吉男(宮崎県)の方々です。

締めくくりにして、来期全国大会への引き継ぎ式が行われ、開催地の広島県工務店協会 河井会長へ青木会長からJBN旗が手渡されました。あわせて第5回全国大会in広島の関連日程が下記のとおり紹介されました。

- 10月23日(水)・24日(木) JBN大工技能競技大会
10月24日(木) JBN全国大会、25日(金) 分科会
続いて、会場を移し、交流会となりました。山田一元JHS実行委員長の開会あいさつ、来賓の国土交通省住宅局 伊藤住宅生産課長、環境省地球環境局地球温暖化対策課 和田課長(代理)の祝辞を受け、日本住宅・木材技術センター 岸理事長の乾杯によって約2時間にわたり、なごやかに交流、懇親を深めました。

ジャパンホームショー2012

11月14日(水)~11月17日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催され、盛況のうち終了することが出来ました。

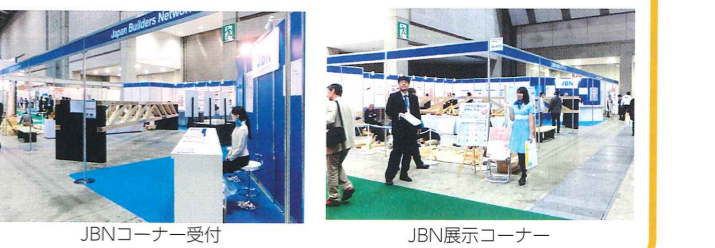
主催者発表による来場登録者総数は、3日間で33,372名、昨年より1,500名増でした。

JBNでは、展示ゾーンを昨年の約2倍に拡充し、中大規模木構造開発モデル、若手大工による実技コーナー、次世代の会によるJBNベンチマーク・セミナーをはじめ、協力会員企業の展示ブース、パネル展示コーナーを設け、JBNの活動とネットワークを来場者に広く情報発信しました。

オープニングにあたり、青木会長は「われわれ業界のモデルであるアメリカのNAHBが主催するビルダーズ・ショーに近い展示運営形式を目指した。その新しい歴史に踏み込む記念すべき3日間にしたい」とスタッフに挨拶しました。

協力会員企業の展示ブースでひととき異彩を放っていたのがマミフラワーデザイン(3ページ参照)協賛コーナーでした。来訪者との懇談、会員相互の交流、JBNの役員や各委員会メンバーの打合せなどに広く活用されました。

この欄をお借りして、ご来訪いただいた会員各位、展示やセミナーに直接・間接を問わずご協力いただいた会員、協力会員企業、関係者の皆さまに厚くお礼を申し上げます。



JBNコーナー受付

JBN展示コーナー

東日本大震災で被災されたJBN会員、連携団体の関係者の方々には、心よりお見舞いを申し上げます。一般社団法人全国木造建設事業協会(全木協)の活動を支えるとともに新たに発足した全国木造住宅生産体制協議会などの関連機関との連絡、調整を図りながら復興支援に努めてまいります。

